

博士論文の審査結果の要旨

専攻	医療・生命薬学	分野	—
学籍番号	18R3003	院生氏名	増渕 龍一郎
通学キャンパス	大田原キャンパス		
論文題目	アロマセラピーの臨床応用に向けたゼラニウム精油の効果に関する研究		
審査結果(枠で囲む)	合格		不合格
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 主論文について</p> <p>1) 研究の概要</p> <p>本研究はゼラニウム精油 (EOPG) を用いた芳香植物療法 (アロマセラピー) の臨床応用を目指して、その効果について ICR 系雄性マウスを用いた血圧・心拍への影響および精油成分の脳内移行性、ならびに線維筋痛症患者に対する疼痛ストレス緩和という観点から検証している。その結果、動物実験では、1) EOPG の吸入により血圧・心拍数の低下が認められること、2) EOPG に含まれる成分が吸入または腹腔内投与により脳内へ移行すること、を明らかにした。また、臨床研究では EOPG を含むアロマオイルトリートメント (AOT) 処置により、1) 血圧の一定値への収束効果、2) ストレスマーカー上昇の抑制傾向、3) 状態・特性不安の変動抑制傾向、4) 患者およびその家族のアドヒアランス向上、という効果を見出した。これらの結果は、更なる科学的検証は必要であるものの、EOPG によるアロマセラピーが医療の選択肢の一つとなる可能性を示唆している。</p> <p>2) 研究方法</p> <p>本研究は、本学動物研究委員会と倫理審査委員会、ならびに国際医療福祉大学病院の倫理審査委員会の事前承認を受け、実験動物の飼育ガイドラインと人を対象とする医学系研究に関する倫理指針を遵守して行われている。まず、心理的效果を排除可能な動物実験により EOPG の効果を科学的に検証し、その後臨床的な応用へと発展させている。得られたデータは適切に統計解析されており、その論証過程に瑕疵は認められない。また、論文形式も適切である。</p> <p>3) 知見の新規性と価値</p> <p>本研究の新規性は動物実験および臨床研究を通じて、EOPG の血圧・心拍低下作用やストレスマーカー上昇抑制等の効果を明らかにしたこと、ならびにアロマセラピーが医療の選択肢となり得る可能性を示したことにあり、治療に難渋する患者の QOL 改善に貢献する研究として高く評価できる。</p> <p>3. 審査過程</p> <p>本論文の審査会は2回開催し、初回審査で、文法上の不備、考察の論理性および文献記載スタイルの統一、等の修正を求めたところ、適切に修正された。</p> <p>4. 口頭試問</p> <p>博士学位論文発表会ならびに上記審査会の質疑に対し、適切に応答した。</p> <p>5. 審査結果</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は本論文が著者に博士(薬学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	<p style="text-align: center;">主 査 教授 猪股 浩平</p> <p style="text-align: center;">副 査 教授 八木 秀樹</p> <p style="text-align: center;">副 査 教授 倉本 敬二</p>		